

地質情報展2006こうち

体験コーナー -地学クイズ-

坂野靖行¹⁾

今年も地質情報展(2006年9月15日~9月17日)において地学に関心を持ってもらうために、パソコンによる地学クイズを出展しました(写真1)。昨年からのWindows XPに対応した新しい地学クイズのソフトウェアを使用しています。出題分野は「地学一般」「岩石および火山」「鉱物および鉱床」「化石」「地震」「アスベスト」があり、参加者はこの6分野から好みのものを選択します。最も多く選ばれた分野は今年もやはり「化石」でした(選択率25%)。選んだ分野から5題出題され、解答時には○×のアニメーションが表示されます。クイズに参加した延べ人数は493名でした。平均正答率は49%でした。

毎年新たに10題程度の問題を追加しており、今では問題は全部で120題になりました。しかしながら新問題を作ることは簡単ではありません。ありきたりの問題だけでなく、最新のトピックスも取り入れたいと考えているので、新聞の科学欄をできるだけ見るようにして、問題作りの種となる記事を切り抜いています。また最近ではデジタルカメラの普及により容易に

画像をパソコン上に取り込めるようになったので、画像を用いた問題作りも多くなってきています。そこで旅行先などで問題として使えそうな風景や標本の写真を撮るようにして、少しでもよい問題ができるように努力しています。以下に今回新たに作成されたクイズを紹介します(括弧内に回答のための選択肢を示します)。

- 問1 ロシアのサハ共和国では、永久凍土に埋もれたあるものがビジネスになっています。それは何でしょう? 近年は地球温暖化の影響でより深い部分から掘り出されやすくなっているといわれています。
(1. 金鉱石, 2. ナウマンゾウ, 3. トパーズ, 4. マンモス)
- 問2 沖縄県与那国島沖の熱水が噴き出ている海底で、液化したある物質がとじこめられていることが分かりました。地球温暖化で注目されているこの物質は何でしょう?
(1. 水素, 2. 酸素, 3. オゾン, 4. 二酸化炭素)
- 問3 太陽系の惑星は全部で何個でしょう?
(1. 8個, 2. 9個, 3. 10個, 4. 12個)
- 問4 火山ができる場所は、(1) 海洋プレートが生まれる場所、(2) 地下深くから局所的な上昇流のあるホットスポット、(3) プレートが沈み込む場所の3つがよく知られています。これ以外の場所で火山は発見されているでしょうか?
(1. 発見されている, 2. 発見されていない)



写真1 地学クイズに挑戦中。

1) 産総研 地質情報研究部門

キーワード: 地質情報展2006こうち, 地学クイズ, 地質標本館, 体験型イベント



写真2 地学クイズの問題例(問1).



写真3 地学クイズの問題例(問2).

- 問5 食べられる鉱物はあるでしょうか？
(1. ある, 2. ない)
- 問6 日本で最初に発見された恐竜は何でしょうか？
(1. モシリュウ, 2. サンチュウリュウ, 3. ミフネリュウ, 4. フクイリュウ)
- 問7 現在のわが国の原子力発電所の耐震指針は、全国一律にある規模の直下型地震を想定して作られています。どれくらいのマグニチュードを想定しているでしょうか？ ちなみに兵庫県南部地震の規模はマグニチュード7.2でした。
(1. マグニチュード8.5, 2. マグニチュード7.5, 3. マグニチュード6.5, 4. マグニチュード5.5)

各問題の正解は上から順に4, 4, 1, 1, 1, 1, 3で、その正答率はそれぞれ44%, 52%, 67%, 78%, 85%, 85%, 40%でした。問3は、2006年8月24日に発表された国際天文学連合による惑星の新しい定義

(太陽系の惑星を「水金地火木土天海」の8個として冥王星を惑星から外す)がマスコミで大きく取り上げられた後だったのでまずまずの正答率でした。問4については、従来の理論では火山はできない場所である岩手県三陸沖800kmの太平洋の海底に火山群が最近発見され、プレートにできた小さな亀裂を通してマグマがじわじわしみだす新タイプの火山のことを問題にしました。問5については、岩塩が鉱物であることを知っているかどうかのポイントです。

これらの問題を含む最新の地学クイズは地質標本館2階の休憩コーナーに常設されています。かつては情報展開催地にちなむ問題も作っていたのですが、あまりにローカルな問題だと標本館で使用するには都合がよくないので、最近はなるべく普遍的な問題を作るようにしています。地質標本館に御来館の際は是非チャレンジしてください。

BANNO Yasuyuki (2007) : A section for quiz on geology in the Kochi Geologic Exhibition.

<受付: 2006年12月20日>